

1. 科目名（単位数）	心理実習(2 単位)	3. 科目番号		
2. 授業担当教員	小池 直 / 鈴木 克也			
4. 授業形態	演習、実習	5. 開講学期	集中	
6. 履修条件・他科目との関係	「人体の構造と機能及び疾病」「心理学概論」「心理学統計法」「発達心理学」「臨床心理学概論」「社会・集団・家族心理学（社会・集団）」「心理学的支援法（基礎）」「心理学実験」「知覚・認知心理学」「精神疾患とその治療」「心理学研究法」「教育・学校心理学」「心理的アセスメント」「障害者・障害児心理学」「心理学的支援法（演習）」「関係行政論」「健康・医療心理学」「心理学的支援法（心理療法）」「心理演習」「公認心理師の職責」（計20科目）全てを履修済みであること。			
7. 講義概要	本科目は、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の 5 つの分野の施設において、次の(ア)から(ウ)までに掲げる事項について、見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は教員による指導を受ける(ただし、経過措置として当分の間は、医療機関(病院・診療所)での実習を必須とし、医療機関以外の施設での実習については適宜行う。また、感染症等の状況によっては大学内での代替の実習となる可能性もある)。(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ(イ)多職種連携及び地域連携(ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解			
8. 学習目標	本科目は、次の(ア)から(ウ)までに掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働の5つの分野の施設において見学等による実習を行いながら、当該施設の実習指導者又は教員による指導を受ける(ただし、経過措置として当分の間は、医療機関(病院・診療所)での実習を必須とし、医療機関以外の施設での実習については適宜行う。また、感染症等の状況によっては大学内での代替の実習となる可能性もある)。(ア)心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ(イ)多職種連携及び地域連携(ウ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解。これにより、(ア)から(ウ)の事項についての基本的な水準の知識及び技能を理解し、習得できることを目標とする。			
9. アサイメント（宿題）及びレポート課題	事前学習において、授業の中で取り扱う予定の内容について調べておき、事後学習では授業内で扱った重要語句を500字程度で纏めておくこと。レポート課題の内容は授業終盤に提示する。レポート課題の提出期限は授業最終日とする。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】心理実習の手引き 【参考書】公認心理師の基礎と実践① 公認心理師の職責 野島一彦・繁樹算男監修 遠見書房			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 学習目標にあげた(ア)～(ウ)の3項目について、30 時間以上の学外実習もしくは実習代替の授業を終了した上で、基本的な知識の習得、ならびにロールプレイングや事例検討への積極的な参加を評価する。 ○評定の方法 すべての授業へ出席し、30 時間以上の学外実習もしくは実習代替の授業を終了していること、事前・事後学習を行っていること、そして実習記録を完成させていることを前提として、授業態度と参加姿勢 40%、課題レポート 30%、実習評価 30%で判断する。			
12. 受講生へのメッセージ	この授業は、心理実習の事前・事後における学習を通して、臨床心理に関する基本的な知識と技能を高め、自己理解を深め、授業の中で触れるさまざまな心理臨床の理論を学び、そして実習で体験する中で、それぞれの流派の人間観や方法論を理解することを目指す。 初回授業では受講ルールや成績評価の詳細を説明する。受講態度と課題への積極的な取り組みをも評価するため、授業内容に関連しない私語・居眠りや携帯電話の使用、事前に連絡のない欠席・遅刻・早退は減点の対象とする。 なお下記の講義内容や分野は、順番が前後又は配分が多少変更される場合がある。			
13. オフィスアワー	時間帯は決まり次第、授業時に通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	オリエンテーション 授業の全体像	事前学習	シラバスを熟読する。	
		事後学習	講義概要、学習目標、成績評価の方法の詳細を確認する。	
第2回	心理実習のための知識と技能①(社会常識、実習先でのマナー)	事前学習	実習の手引きを確認し、心理実習で求められる実習生としてのマナーを自分なりに調べておく。	
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。	
第3回	心理実習のための知識と技能②(実習前のご挨拶について)	事前学習	実習の手引きを確認し、実習前のご挨拶について熟知しておく。	
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。	
第4回	心理実習のための知識と技能③(実習中の指導、実習記録について)	事前学習	実習の手引きを確認し、実習中の指導および実習記録について熟知しておく。	
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。	
第5回	心理実習のための知識と技能④(実習記録について)	事前学習	実習の手引きを確認し、実習中の指導および実習記録について熟知しておく。	
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。	
第6回	心理実習のための知識と技能⑤(0歳から6歳までの精神発達)	事前学習	心理実習で求められる知識、特に精神発達に関することを自分なりに調べておく。	
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。	

第 7 回	心理実習のための知識と技能⑥(6 歳から青年期までの精神発達)	事前学習	心理実習で求められる知識、特に精神発達に関することを自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 8 回	心理実習のための知識と技能⑦(中年期老年期の精神発達)	事前学習	心理実習で求められる知識、特に精神発達に関することを自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 9 回	心理実習のための知識と技能⑧(精神病、発達障害、精神遅滞)	事前学習	心理実習で求められる知識、特に精神疾患に関することを自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 0 回	心理実習のための知識と技能⑨(パーソナリティ障害、不安障害、その他の疾患)	事前学習	心理実習で求められる知識、特に精神疾患に関することを自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 1 回	心理実習先別事前指導(保健医療分野①病院・診療所)	事前学習	保健医療分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 2 回	心理実習先別事前指導(保健医療分野②その他)	事前学習	保健医療分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 3 回	心理実習先別事前指導(教育分野①適応指導教室・学校)	事前学習	教育分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 4 回	心理実習先別事前指導(教育分野②その他)	事前学習	教育分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 5 回	心理実習先別事前指導(福祉分野①高齢者・児童)	事前学習	福祉分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 6 回	心理実習先別事前指導(福祉分野②障害者)	事前学習	福祉分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 1 7 回	心理実習先別事前指導(その他(司法犯罪、産業)分野)	事前学習	その他分野での心理職の仕事、援助対象者、及びこの領域での重要概念について自分なりに調べておく。
		事後学習	授業内で扱った重要語句を、自分なりの言葉でまとめておく。
実実習(第 1 8 回 ～ 第 3 7 回に関しては下記の内容で実実習を行う。分野ごとの実習順や配分は変更される場合がある。)			
● 医療機関実習の内容と展開 施設見学、外来及びデイケアでの実習等を通して、以下のことを学ぶ。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて ① デイケアや病棟レクリエーションなどのグループ活動や、リエゾンチームや緩和ケアチームなどのチームでの活動の見学・陪席を通じて、チームアプローチの実践について学ぶ。 ② 多職種合同のカンファレンスに参加・見学し、他の職種の役割分担を学ぶ。 (イ) 多職種連携及び地域連携について ① 病院における多職種業務の理解を図り、各部門職種との関係を学ぶ。 ② 病院外の患者に対する関係機関(保健センター、生活訓練施設、地域包括支援センター等)の役割について学ぶ。 (ウ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について 公認心理師法第 40 条から第 43 条までに規定されている法的義務について学ぶ。			
● 福祉施設実習の内容と展開 施設見学、教科学習(幼児の場合は遊戯)時間の見学、自由時間の参与観察、ケース会議への参加等を通して、以下のことを学ぶ。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて ① 心理に関する支援を要する者との日常のコミュニケーション、心理に関する支援を要する者に対する心理検査や心理面接等の見学・陪席を通じて、心理に関する支援を要する者の理解を深める。 ② 生活支援、自助グループや活動グループ等のグループ活動、作業等への参加を通して、チームで心理に関する支援を要する者に関わる意義を学ぶ。 (イ) 多職種連携及び地域連携について ① 施設における多職種業務の理解を図り、各部門職種との関係を学ぶ。 ② 多職種合同のカンファレンスに参加し、他職種の役割分担を理解するよう努める。 ③ 地域で行われている活動や事業における実習施設・機関の役割を理解し、施設や支援者が行う地域社会への働きかけを学ぶ。 (ウ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について 公認心理師法第 40 条から第 43 条までに規定されている法的義務を学ぶ。			
● 教育機関(適応指導教室)実習の内容と展開 施設見学、学習指導及び運動と遊びの活動等を通して、以下のことを学ぶ。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて			

- ① 児童・生徒に関わる専門家がそれぞれ、どのような観点や方法によって、遊びや学習指導を通した児童・生徒とのラポール構築を行っているかの理解に努める。
- ② 児童・生徒に関わる専門家がそれぞれ、どのような観点や方法によって、遊びや学習指導における観察・面接（日常会話）等により、児童・生徒の理解を深めているかを学ぶ。
- ③ 複数の支援者が、どのように役割分担などを行い、チームとしてアプローチをしているかを学ぶ。

(イ) 多職種連携及び地域連携について

- ① 適応指導教室の意義と役割について学ぶ。
- ② 複数の支援者が、どのように役割分担などを行い、連携しているかを学ぶ。
- ③ 不登校児に対する学校の役割、医療機関や児童相談所の役割について、また、それらの機関と適応指導教室との連携の仕方を学ぶ。

(ウ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について

公認心理師法第 40 条から第 43 条までに規定されている法的義務を学ぶ。

● 教育機関（学校）実習の内容と展開

学校見学、相談室・保健室・教室における教諭と児童生徒の関わりでの観察等を通して、以下のことを学ぶ。

(ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて

- ② 学校の心理社会的意義と役割、学校組織内の役割分担（校務分掌）を学ぶ。
- ③ 問題を抱えた児童生徒に対する学校の役割と支援方法についての理解に努める。
- ④ 学校組織がチームとしてどのように個々の児童・生徒にアプローチしているかを学ぶ。

(イ) 多職種連携及び地域連携について

- ① 関連機関（教育委員会、教育センター、教育事務所、医療機関、児童相談所等）の役割について学ぶ。
- ② 教諭（特に担任や養護教諭）が、関連機関と、どのような場面で、どのように連携をとっているかを学ぶ。

(ウ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について

公認心理師法第 40 条から第 43 条までに規定されている法的義務を学ぶ。

● 司法・犯罪機関実習の内容と展開

司法・矯正施設の見学、法務技官による講義等を通して、以下のことを学ぶ。

(ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて

- ① 少年保護手続きの基本的枠組み、少年事件の流れ、収容審判鑑別の流れ、更生保護制度の概要など、司法犯罪分野に関わる概要や一連の流れについて学ぶ。
- ② 犯罪を犯した者及び非行のある少年に対し行われる、鑑別、観護処遇、更生保護、地域援助などを学び、心理に関する支援を要する者の理解を深める。

(イ) 多職種連携及び地域連携について

- ① 法務技官、法務教官、保護観察官、保護司などの多職種業務の理解を図り、その連携と実際について学ぶ。
- ② 少年鑑別所、少年院、保護観察所、更生保護施設などの関係機関の役割について学ぶ。
- ③ 少年鑑別所による法務少年支援センターによる地域支援、保護観察所による生活環境調整と関連機関との連携などの地域活動について学ぶ。

(ウ) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について

公認心理師法第 40 条から第 43 条までに規定されている法的義務について学ぶ。

第 3 8 回	心理実習事後指導(保健医療分野①実習体験報告)	事前学習	実習で体験したこと全般について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 3 9 回	心理実習事後指導(保健医療分野②病院)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 4 0 回	心理実習事後指導(保健医療分野③診療所)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 4 1 回	心理実習事後指導(保健医療分野④その他)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 4 2 回	心理実習事後指導(教育分野①実習体験報告)	事前学習	実習で体験したこと全般について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 4 3 回	心理実習事後指導(教育分野②適応指導教室)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。
第 4 4 回	心理実習事後指導(教育分野③学校)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめておく。

第45回	心理実習事後指導(教育分野④その他)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第46回	心理実習事後指導(福祉分野①実習体験報告)	事前学習	実習で体験したこと全般について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第47回	心理実習事後指導(福祉分野②高齢者)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第48回	心理実習事後指導(福祉分野③児童)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第49回	心理実習事後指導(福祉分野④障害者)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第50回	心理実習事後指導(その他(司法犯罪・産業等)分野①実習体験報告)	事前学習	実習で体験したこと全般について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第51回	心理実習事後指導(その他(司法犯罪・産業等)分野②少年鑑別所)	事前学習	実習における体験の中から印象に残った事例について報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、およびケースカンファレンスでの重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第52回	心理実習事後指導(公認心理師の業務と責務についてのふりかえり)	事前学習	実習での体験を振り返り、公認心理師の職務と責務について考えたことを報告する準備を行う。
		事後学習	授業内で扱った重要語句、および公認心理師の職責について重要な部分を、自分なりの言葉でまとめる。
第53回	心理実習事後指導(実習報告書の作成)	事前学習	実習および事後指導で深めた学びについて報告書を作成する準備を行う。
		事後学習	実習および事後指導で深めた学びについて、自分なりの振り返りを行う。
第54回	確認のワーク(総括)	事前学習	レポート提出の準備をする。
		事後学習	事前指導、実習、事後指導における学びのまとめをする。

緊急事態宣言などで、実習代替授業を行う際は、下記のシラバスを用いる。

第18回	実習代替のプログラム 保健医療分野①医療における心理支援のチームアプローチ(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、保健医療分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第19回	実習代替のプログラム 保健医療分野②医療における心理職の多職種連携(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、保健医療分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第20回	実習代替のプログラム 保健医療分野③医療における心理職の地域連携(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、保健医療分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。

第 2 1 回	実習代替のプログラム 保健医療分野④医療における心理職の職業倫理（上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論，保健医療分野担当教員からの指導）	事前学習	事前指導で学んだことを整理し，発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション，担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第 2 2 回	実習代替のプログラム 保健医療分野⑤web 会議システム等による解説と質疑（実習指導者による，医療情勢やその施設の役割、心理職の職務や連携についてのレクチャー及び質疑応答）	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。
第 2 3 回	実習代替のプログラム 教育分野①教育施設における心理支援のチームアプローチ（上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論，教育分野担当教員からの指導）	事前学習	事前指導で学んだことを整理し，発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション，担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第 2 4 回	実習代替のプログラム 教育分野②教育施設における心理職の多職種連携（上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論，教育分野担当教員からの指導）	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。
第 2 5 回	実習代替のプログラム 教育分野③教育施設における心理職の地域連携（上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論，教育分野担当教員からの指導）	事前学習	事前指導で学んだことを整理し，発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション，担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第 2 6 回	実習代替のプログラム 教育分野④教育施設における心理職の職業倫理（上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論，教育分野担当教員からの指導）	事前学習	事前指導で学んだことを整理し，発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション，担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第 2 7 回	実習代替のプログラム 教育分野⑤web 会議システム等による解説と質疑（実習指導者による，その施設の役割や近年の動向、心理職の職務や連携についてレクチャー及び質疑応答）	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。
第 2 8 回	実習代替のプログラム 福祉分野①福祉施設における心理支援のチームアプローチ（上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論，福祉分野担当教員	事前学習	事前指導で学んだことを整理し，発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション，担当教員からの指導内容について記録をまとめる。

	からの指導)		
第29回	実習代替のプログラム 福祉分野②福祉施設における心理職の多職種連携 (上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、福祉分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。
第30回	実習代替のプログラム 福祉分野③福祉施設における心理職の地域連携(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、福祉分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第31回	実習代替のプログラム 福祉分野④福祉施設における心理職の職業倫理(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、教育分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第32回	実習代替のプログラム 福祉分野⑤web会議システム等による解説と質疑(実習指導者による、その施設の役割や近年の動向、心理職の職務や連携についてレクチャー及び質疑応答)	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。
第33回	実習代替のプログラム その他分野①その他分野の施設における心理支援のチームアプローチ(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、福祉分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第34回	実習代替のプログラム その他分野②その他分野の施設における心理職の多職種連携(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、福祉分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。
第35回	実習代替のプログラム その他分野③その他分野の施設における心理職の地域連携(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題についてのレポート作成と討論、福祉分野担当教員からの指導)	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をまとめる。
第36回	実習代替のプログラム その他分野④その他分野の施設における心理職の職業倫理(上記テーマに関する映像資料や論文を元にした現場の実際の課題	事前学習	事前指導で学んだことを整理し、発表・ディスカッションの準備をする。
		事後学習	実習内容やディスカッション、担当教員からの指導内容について記録をま

	についてのレポート作成と討論，教育分野担当教員からの指導)		とめる。
第37回	実習代替のプログラム その他分野@web会議システム等による解説と質疑 (実習指導者による，その施設の役割や近年の動向、心理職の職務や連携についてレクチャー及び質疑応答)	事前学習	事前指導で学んだことを整理しておく。実習指導者にインタビューしたい内容を検討しておく。
		事後学習	実習指導者からの指導内容やインタビュー内容について記録をまとめる。

【心理実習 時間の内訳】

- ・事前指導に当たる部分（第1回～第17回）：25.5時間（1,530分）

内訳 授業 1.5時間（90分）×17回＝25.5時間

- ・実実習に当たる部分（第18回～第37回）：30時間（1,800分）

内訳 実実習 6時間（360分）×5日＝30時間

- ・事後指導に当たる部分（第38回～第54回）：25.5時間（1,530分）

内訳 授業 1.5時間（90分）×17回＝25.5時間

- ・心理実習総時間数…事前指導 25.5時間＋実実習 30時間＋事後指導 25.5時間

＝計 81時間